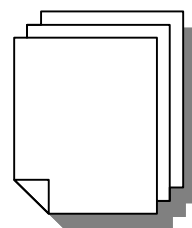


# 消防署からのお知らせ

## 住宅用火災警報器のアンケート結果



住宅用火災警報器に関するアンケートにご協力頂きありがとうございました。

昨年同期に実施したアンケート調査と同様の内容で、全世帯2,375世帯に配付し1,491世帯(62.8%)より有効回答を得ることができました。

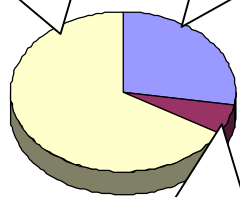
Q お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか？

寝室、階段(寝室が2階にある場合)に必要となる。

<平成21年度設置状況>

設置無し 66.4%

設置 27.8%

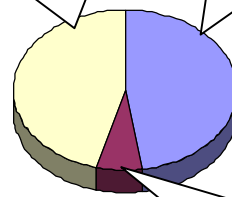


一部設置 5.8%

<平成22年度設置状況>

設置無し 45.8%

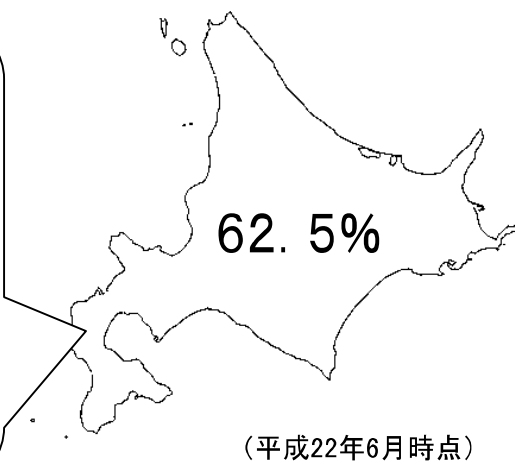
設置 47.4%



一部設置 6.8%

設置率は、一部設置も含め54.2%となりました。昨年と比較すると20.6%増加しています。全道の推計普及率と比較すると、まだ少ない状況になっています。

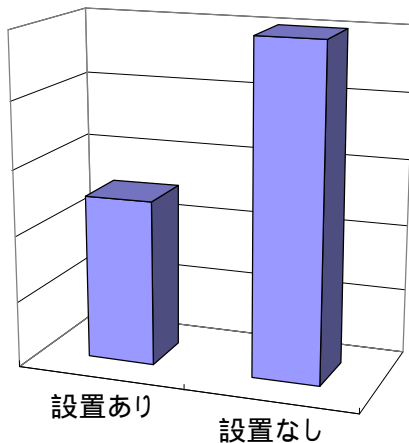
火災を早期に発見し逃げ遅れを防ぐため、早めの設置をお願いします。



設置場所は、寝室・階段(寝室が2階にある場合)

Q お住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか？

	設置していない理由	21年度	22年度	前回比
1	設置が義務化されていることを知らなかった	20.0%	12.3%	-7.7%
2	設置費用負担が大きい	11.3%	11.4%	0.1%
3	自分で設置することは難しい	3.3%	5.9%	2.6%
4	購入方法がわからない	2.7%	2.8%	0.1%
5	借家のため自分で設置してよいかわからない	16.8%	8.5%	-8.3%
6	設置することにより、どれくらい効果があるかわからない	5.1%	4.2%	-0.9%
7	義務設置まで猶予がある	36.7%	44.9%	8.2%
8	その他	3.7%	9.1%	5.4%



死 者 数（人/火災 100 件）  
 焼損床面積（㎡/火災 1 件）  
 損 害 額（千円/火災 1 件）

## 住宅用火災警報器の「効果は2倍」

過去3年間の住宅火災による「死者数」「焼損床面積」「損害額」を分析結果、住宅用火災警報器を設置されていない場合は約2倍の被害状況となっています。（総務省消防庁予防課調べ）

住宅用火災警報器を設置していない場合は、危険もそれだけ高いと言えます。

借家については、家主と借主で相談し設置を計画してください。

設置の猶予期間は残り5ヶ月です。早めの設置計画をお願いします。

電気店、ホームセンター等で販売しています。



設置の効果は2倍

～ 住宅用火災警報器のご相談は、今金消防署予防係までお気軽にどうぞ ～

檜山広域行政組合 今金消防署 TEL 0137 (82) 0519